

## 子育て支援日本一を掲げる サービストまちづくり

小久保 利佳

境町では20歳の学生まで医療費助成、保育施設・小中学校の給食費無料、保育料が第2子から無料（第1子の年齢にかかわらず）、育児用品の購入クーポン最大3万円分など、さまざまな制度で子育てにかかる費用を厚くサポートしている。いずれも所得制限はなし。

放課後児童クラブ（学童保育）も全ての小学校区に設置しており、学習指導員を配置しているため、宿題や自主学習もサポート。夏休みなどの長期休暇時は給食を希望者に対し1食250円で提供してくれる手厚さ。

子どもの遊び場には、全天候型の児童公園「ニコニコパーク」また、子育て支援施設



▲本格的なおままごとスペース

「SiWORK+KIDS」では、子どもが遊ぶ姿を見ながら仕事することもできる。テレワークにもぴったりのコワーキングスペースやフリーキッチンがあり、趣味や作業のスペースとしても利用可能。遊び場には大型遊具やリアルおままごとスペースがあり、デザインにも気を遣っている。屋外には電動キッズカーでドライブできる本格的コースがあり、まさに親子で行ってみたいと思える施設だった。

## 境町のアーバンスポーツ 施設から五輪選手を！

小久保 利佳

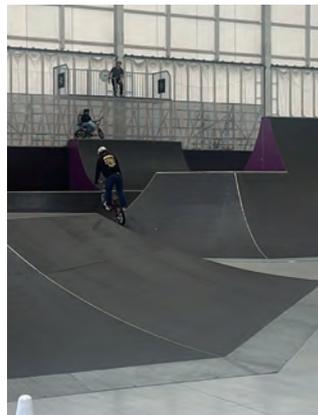
東京五輪で使用された競技関連施設を町内へ移設し、オリンピックレガシーを継承した世界最高レベルの屋内外アーバンスポーツパークや、人工サーフィン場等を整備するなど、「スポーツを核としたまちづくり」を進めている。国際大会招致を目的に、東京大会で新たな競技種目として追加された「BMXフリースタイル・パーク」や「スケートボード」などの競技が実施可能な、世界最高レベルの屋内外施設に夜間照明なども整備。常設としては日本初となる世界大会が開催可能なレベルの施設である。

また、東京都品川区にあった人気施設の移転先として、境町が名乗りを上げ、全国に4カ所しかない人工サーフィン施設も整備しオープンした。9m×20mのプールには前方から水が流れ、底面の造波装置を使って高さ1・451・8mの波を造ることができ、地形や気象条件に左右される海でのサーフィンと違って、人工サーフィン施設は繰り返し何度でも練習できる。

さらには、BMXフリースタイル業



▲CITYWAVE TOKYO SAKAIMACHI



▲大きなテント内のアーバンスポーツパーク

界で活躍する一線級の方を移住者として迎え、地域おこし協力隊として採用。子どもたちに向けた教室を開催するなど、本物の指導が実現。その結果、アーバンスポーツの国際大会を目指す子どもとその家族が、充実した練習環境を求めて移住するケースが増えているという。